

## 外国人支援・多文化共生ネット報告会 団体紹介 (No. 3 )

名称：Viva おかざき！！

活動分野：多文化共生、地域日本語教育、まちづくり

代表者：長尾 晴香

住所：〒444-0045

愛知県岡崎市康生通東2丁目22-1

TEL：050-5891-8917

FAX：0564-77-9264

活動エリア：愛知県岡崎市を中心に東海地域

設立年：2010年

MAIL: info@viva-okazaki.com

URL: <https://viva-okazaki.com/>

活動方針：

日本人も外国人も国籍・文化の壁を越えてお互い助け合って暮らしていける誰もが住んでよかった Viva (=バンザイ) おかざき！！と思える地域社会のために活動している。

活動概要：

セミナーや日本語教室を行い、外国人が生活に必要な情報やことばを学ぶ機会を提供。また、地域行事の参加や交流イベントを通して、外国人が日本文化や地域に興味を持つと同時に、日本人も多様な人々への理解を深める場づくりを行う。そして、日本人と外国人をつなぐ存在を増やすため、災害時に支援者になる外国人や、日本語教育人材の育成などを行っている。2020年度は、コロナウイルスに関する情報の多言語での発信や無料での食料配布を行っている。

提言：

外国人住民が日本社会のルールや日本語を学ぶ機会を増やし、日本社会につながるチャンスを広げていくことが重要だと考える。同時に、外国人住民を地域を支える人材として育成していく仕組みづくりを行っていきたい。

### 活動報告 1：外国ルーツの子ども向け日本語教室（対面、オンライン）



毎週日曜日 13 時～15 時に岡崎市図書館交流プラザ  
りぶら会議室で「Viva キッズ日本語ひろば」を開催  
している。小1年～高校1年の約15名（ブラジル、  
中国、フィリピン、ベトナムのルーツの子ども）に  
日本語指導や教科学習のサポートを行っている。

2020年5月より ZOOM によるオンライン授業も  
開始し、対面とオンラインを選択できる形で実施し  
ている。指導者は地域のボランティアで、日本語が  
堪能な外国人もボランティアとして活躍している。

## 活動報告 2 : コロナウイルスの影響を受ける外国人住民向け食料支援



▶中日新聞 西三河版  
(6月28日掲載)

2020年6月より毎週日曜日16時～18時に岡崎市図書館交流プラザりぶら会議室で無料で食料支援を行っている。毎月約60名の住民がお米や缶詰などの食料やティッシュペーパーなど生活用品をもらいに訪れる。助成金を申請したり、企業や個人からの寄付で運営している。食料支援を行った住民の国籍は、ブラジル、ペルー、フィリピン、ベトナム等で、在留資格は永住者、定住者、日本人の配偶者、技能実習生など様々な住人に影響が出ており、食料配布時に状況確認のためのアンケートや、困りごとの聞き取りなどを行っている。

## 活動報告 3 : 多言語での情報発信



2020年4月より、コロナウイルスに関する情報や、行政の支援サービスに関する情報を多言語でNPO法人Adagio（西尾）、Pay Forward（安城）と協働して、多言語でSNSで情報発信を行った。日本語でしか情報がないものについては、5言語（ポルトガル語、中国語、ベトナム語、タガログ語、インドネシア語）・やさしい日本語に翻訳した。自治体ごとに申請書が異なった特別定額給付金については、岡崎市の申請書の書き方をやさしい日本語とポルトガル語で説明する動画を作成。上記の食料支援の情報についても実施前には、多言語で情報発信を行い、周知をしている。